

県立大学が変わります



Aichi  
prefectural  
University

愛知県立大学

平成10年には長久手町へ移転し、学部学科の増設、昼夜開講制の導入、大学院の新設、教育施設の充実など、新たな飛躍を遂げようとしています。

## 沿革

昭和22年4月修業年限3年の県立女子専門学校として設置されたが、学制の改革に伴い、昭和25年には女子短期大学(修業年限2年)として再発足した。

その後4年制大学への昇格の機運が高まり、昭和32年には県立女子大学(文学部)が設置された。

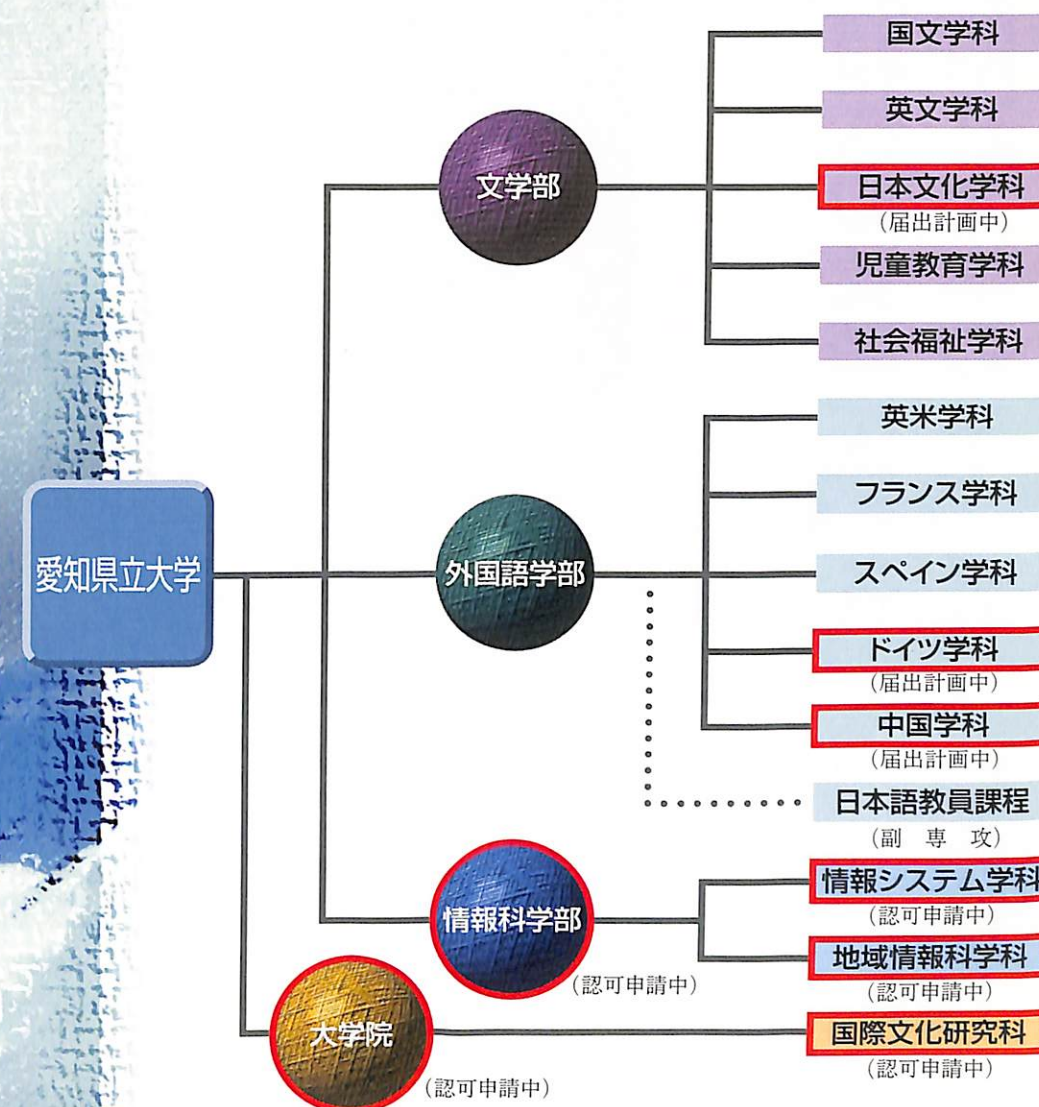
さらに、昭和41年には男女共学の県立大学が発足し、女子大学は学生募集を停止し、昭和45年8月に廃止された。

- 昭和22年 愛知県立女子専門学校
- 昭和25年 愛知女子短期大学
- 昭和28年 愛知県立女子短期大学(校名変更)
- 昭和32年 愛知県立女子大学
- 昭和41年 愛知県立大学
- 平成10年 長久手町へ移転開学

本学は、充実した教授陣のもとに徹底した少人数教育で対話形式の語学教育や、懇切で、きめの細かいゼミナールなどが多く行われています。

卒業生は15,000人以上に達しており、広く各界で活躍し、各方面から高い評価を得ています。

## 学部学科構成・大学院はこのようになります



□・○ …… 新設予定の学部、学科及び大学院を示す。

※1 愛知県立大学では、平成10年4月に向けて、情報科学部、大学院の設置を、文部省に認可申請中です。また、文学部に日本文化学科、外国語学部ドイツ学科、中国学科の増設を計画しています。

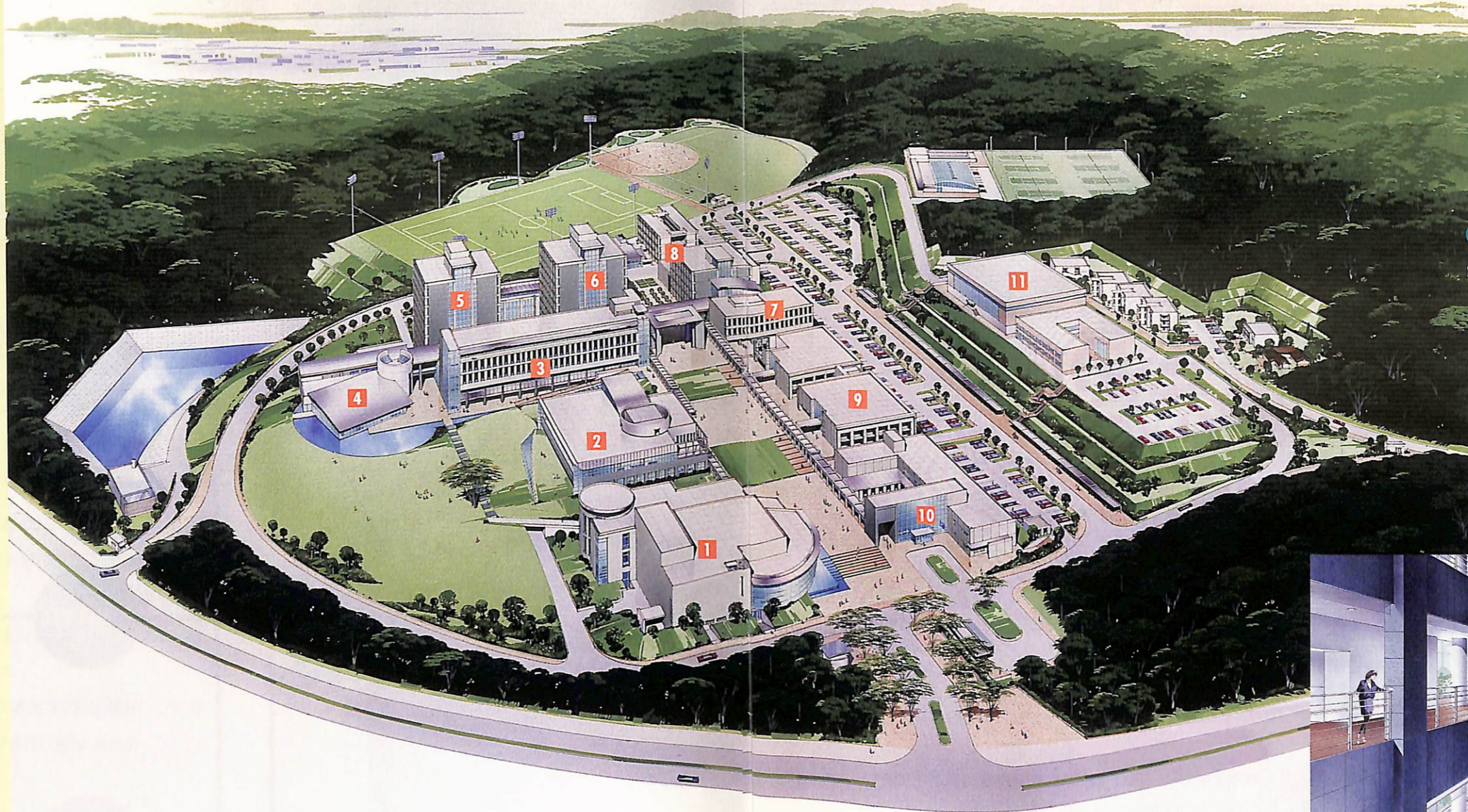
※2 文学部、外国語学部に、昼夜開講制の導入を計画しています。

※3 外国語学部第2部及び短期大学は、昼夜開講制の導入に伴い募集を停止する予定です。

### 昼夜開講制

愛知県立大学では、社会人の多様な学習欲求に応えるとともに、高等教育の機会を積極的に提供するため、昼夜開講制を導入します。昼夜開講制は、昼間主コースと夜間主コースで開設される授業科目が相互に履修可能となる制度です。特に、夜間主コースでは、広く社会人を受け入れていきます。

新しい時代の要請に応え、  
新しい県立大学のキャンパスが完成します。



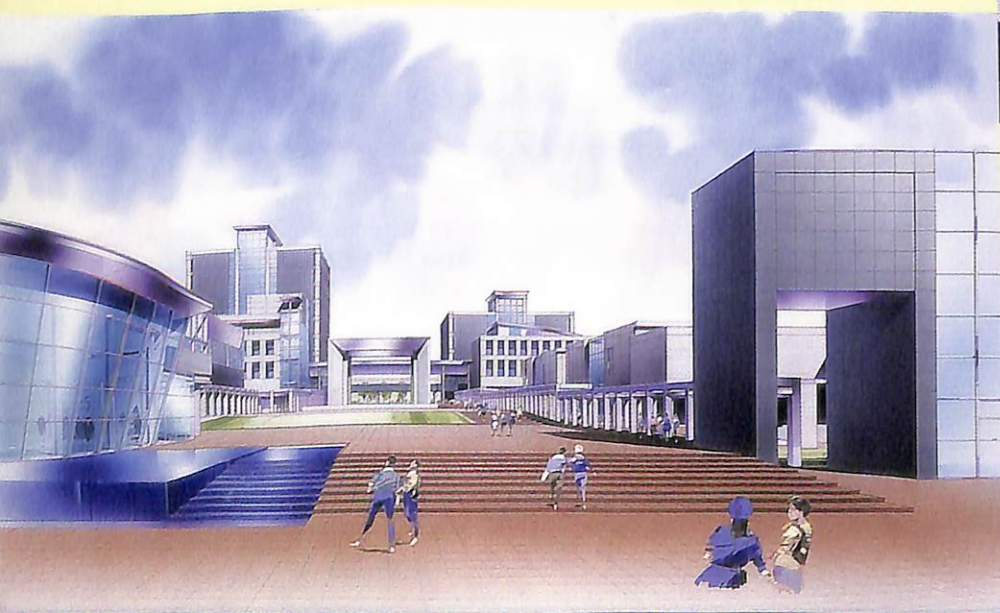
施設の概要

- 1 講堂・学術文化交流センター
- 2 図書館
- 3 講義棟(東棟)
- 4 食堂
- 5 文学部棟
- 6 外国語学部棟
- 7 情報科学部棟
- 8 学生会館
- 9 講義棟(南棟)
- 10 管理棟
- 11 体育館



グラスアベニュー  
(講義棟、学部棟へのエントランスホール)

プロムナード広場



講堂

愛知県立大学は、平成10年4月に「あいち学術研究開発ゾーン」構想の中核地区に位置する愛知県長久手町(一部瀬戸市を含む)に移転するとともに、21世紀に向けて時代に適応した新しい教育体制の充実をはかります。

案内図



移転先

愛知県長久手町大字熊張字茨ヶ廻間

交通案内

地下鉄「藤ヶ丘駅」と愛知環状鉄道「八草駅」から県立大学行き路線バスの運行を交渉しております。

# 学部・学科等の紹介



文学部は、国文、英文、児童教育、社会福祉、日本文化学科(届出計画中)の5学科から構成されます。各学科とも専門的知識と教養を深めるとともに、正しい判断力と強靱な学問的精神の確立によって、有為の人材を育成することを目的としています。そのために、厳しく、しかも自主的な研究姿勢を堅持しながら少人数授業を原則として教員と学生との交流を深め、豊かな学園生活をつくりあげようとしています。また、全学科で昼夜開講制(届出計画中)を導入し、地域に根ざした開かれた学部づくりを目指します。

## 国文学科

日本の古典文学、近代文学、言語について、教員は学生とともに、種々の角度から研究を進め、それに基づいて高度な専門的教育を実現しています。その学術研究は高い水準を示しています。また、学生は堅実で、向学心に富み、自主的な研究とともに、教員の指導、助言によって、良好な成果をあげています。

## 英文学科

英文学科は、実際の英語運用能力を高めるとともに、英語学及び英米文学・文化の研究を通じて、国際社会に対する理解を深めることを目的としています。世界的な視野に立って、世界・文化・人間に対する深い理解と正しい判断力を養い、国際的な感覚と行動力をもつ有用な人材を育成しようとしています。専任・非常勤合わせて4名(平成10年度)の外国人教員を中心に、学生の多様な要望に応えるカリキュラムを提供します。

## 児童教育学科

教育学及び心理学を中心に、さらに芸術の分野や自然科学の分野から、社会の中に生きる子どもを研究している学科です。この学科では、子どもやそれらを取りまく環境を広い視野から科学的に認識できる力を培い、子どもにかかわる多様な分野で活躍する人材を育てることを目指します。

## 社会福祉学科

社会福祉を学び実践することは現代人にとって必須事項の一つです。また、21世紀社会を共に生き抜く新しい知恵と方法を身につけることが社会福祉学科の基本的課題です。新キャンパスで再スタートする社会福祉学科は昼間主コースに新たに4年制保母課程の設置を予定すると共に、社会人のために夜間主コースを設け、今まで以上に幅広いスタッフによって、より実践的でより高度な学習ができる体制をつくる予定です。

## 日本文化学科 (届出計画中)

日本を、日本文化論を基礎としながら、歴史学、地域研究、比較文化の諸方面から探求します。それぞれの分野に3名ずつの教員を配置して少人数教育の態勢をとり、地域の文化資料を活用して地域社会の発展に寄与できる実践的な教育を進めます。また、応用性に富み、広い視野に立つ清新で堅実な学風を形成することを目指しています。近年急速に国際化する日本社会に対して、異文化に関心をもち広く国内外に活動の場を求める人材を養成することを目標とします。



外国語学部には、現在、英米、フランス及びスペインの3学科が置かれていますが、平成10年度からは新たにドイツ学科及び中国学科(届出計画中)が増設され5学科となり、全学科に昼夜開講制(届出計画中)を導入し、昼間主コース及び夜間主コースにおいて学生募集を行う予定です。各学科の教育・研究体制は、その学科の対象とする国や地域が世界で占める位置、さらに我が国との関わり方の相違によって、それぞれ独自の観点から構築されていますが、いずれの学科も徹底した語学の学習と訓練を通し、さらに文化・歴史から政治・経済までの多岐にわたる外国研究によって、国際社会において活躍できる有為の人材の育成を目指していることでは共通しています。したがって、本学部に入學しようとする者は、外国語学習への強い意欲と専攻文化圏へ深い関心が求められます。

## 英米学科

高度の英語能力を習得させ、さらに英米両国を中心とする英語文化圏の文化・社会の理解を深めさせ、国際的視野を持つ有為な人材を育成することを目的としています。英米学科の専任教員は、外国人教員3名を含めて19名に達しています。

## フランス学科

フランス語は英語に次ぐ国際語であるとともに、何よりも「明晰」を旨とし、曖昧さをしりぞける言語です。本学科は、フランス語の実際の運用能力をみがいたうえで、ヨーロッパ文明の中核をなすフランスの文化・社会を深く理解し、同時に対蹠的な日本文化を視野に置きつつ国際社会で活躍する人材を育てることを目的としています。専任教員は、フランス人教員2名を含めて14名です。

## スペイン学科

ヨーロッパにおいて特異な歴史と文化を築いたスペインの国語であり、今後の発展変動が予想される広大なラテンアメリカ諸国の言語でもあるスペイン語を学び、その語学力を使ってスペイン語圏の諸地域の文化・社会について広範な知識や探求能力を身につけ、国際社会で活躍できる有能な人材を育てるところです。教授スタッフはスペイン人教員1名を含む11名です。

## ドイツ学科 (届出計画中)

ドイツ語の高度な運用能力の習得を中心に、ドイツ、オーストリア、スイスなど、ドイツ語圏の政治、法律、経済、歴史、文化、文学等広汎な分野を学習し、専門的知識と国際的視野を身につける学科です。今日、ドイツは技術立国と環境問題先進国の二つの顔をもつ、ヨーロッパ最大の経済力を有する国です。教授スタッフはドイツ人教員2名を含む14名です。教育愛に燃えています。

## 中国学科 (届出計画中)

現在日本の貿易は対アジアが対欧・対米をしのぎ、冷戦後の日本は「アジア重視」の方向にあります。中国学科はアジアの高成長を支えている中国・台湾・香港および中国系の活躍する東南アジアを対象とし「中国語、異文化理解、地域研究」をキーワードに、現代中国だけでなく「歴史的連続性」「東南アジアを含む広域性」を重視。躍動する中国語圏との国際接触の一線に立つ人材を養成する新しいコンセプトの学科です。

外国語学部には、どの学科にも共通で、しかも必要不可欠な科目群「学部共通科目」が設けられています。外国を研究する場合の総論的、原理的、学際的な科目がそうです。また、学部共通科目で卒業論文を書く希望者のためのコース「言語比較文化課程、国際関係課程」も置かれています。外国語学部の学生は、このように各学科で学ぶ世界の諸地域のスペシャリストであると同時に、地域を越えた広い視野、諸学の基礎知識、そして日本と日本人に対する外からの視点などを身につけることとなります。



(認可申請中)

情報科学部では、21世紀における豊かで持続的発展を目指す社会の形成に寄与することを目的とし、情報科学に関する教育・研究を行うことにより、情報科学の学問領域と地域社会の発展に寄与することのできる情報システム技術者を育成しようとするものであります。特に、主要な科目には演習や実習を配置し、学生実験を必修とすることにより、総合的な思考力を養い、問題解決のための具体的な訓練を行います。

情報システム学科

(認可申請中)

コンピュータを中心としたマルチメディア及び情報システムに関する教育研究を行い、高度情報化時代に対応した情報システムを構築し、運用することのできる情報システム技術者を養成します。

地域情報科学科

(認可申請中)

地域社会の情報化に不可欠な情報ネットワーク技術と、地域環境の分析・設計に不可欠なシミュレーション技術に関する教育を行い、21世紀のネットワーク型地域社会を構築し、発展させることのできる情報システム技術者を養成します。



(認可申請中)

愛知県立大学大学院(修士課程)は、地域社会の国際化、学際的な学術研究の進展、そして社会的なニーズに対応して構想された大学院であって、21世紀に我が国が国際社会の一員としての役割を果たすための礎石となる人材の育成を目指しています。

国際文化研究科

(認可申請中)

本大学院の国際文化研究科は、愛知県立大学の特色ある人文科学系の二学部、すなわち文学部と外国語学部の学科を土台にした研究科ですので、両学部の独自性と教員スタッフを最大限に生かし、さらに両学部を結ぶキーワードとして〈文化〉を掲げ、激動する現代世界の課題である自文化と異文化のコミュニケーションを深く理解し考究することを設置の理念としています。